



# 下大竹だより

第69号  
発行:下大竹自治会  
発行日:  
2023年4月1日

## 回覧

### 下大竹自治会 2022年11月～2023年1月活動報告

11月 下大竹自治会会員全体調査の実施

22日(火) 防犯パトロール

25日(金) 自治会長会議(会長対応)

26日(土) 11月度定例役員会

27日(日) 県道の花植え



▲県道の花植え

12月 1日(木) 下大竹だより第68号発行

3日(土) ふれあい福祉祭り(会長対応)

14日(水) ポイ捨て防止パトロール

17日(土) 部長・建設委員合同会議

18日(日) 役員選考委員会<中止>

22日(木) 防犯パトロール

24日(土) 集会所の大掃除

12月度定例役員会

25日(日) 花のアレンジメント



▲ポイ捨て防止パトロール

1月 1日(日) 歳旦祭(会長対応)

8日(日) 消防出初式、新春の集い

21日(土) 役員選考委員会<中止>

22日(日) 総合防災訓練

防犯パトロール

25日(水) 自治会長会議(会長対応)

28日(土) 1月度定例役員会



▲花のアレンジメント



▼総合防災訓練



下大竹自治会  
通常総会

4月16日(日)

◆午後4時～

◆南公民館講義室

※新組長さんの出席をお願いします

八幡台遺跡から岡崎城跡へ④

最終回

岡崎城跡②

『新編相模国風土記稿』によれば、城は東西に長い平山城で、馬渡、大句、西海地（平塚市）などにまたがり、四方を低地に囲まれ、西方に大手門を構えているという。南側西海地の田は深く、岡崎城の要害のひとつとなっており、東側には堀と土塁があったらしいと記されている。

三浦道寸は名だたる名将であったが、永正九年（一五一二）八月一日、小田原城に拠った伊勢宗瑞（北条早雲）の猛攻を受けて岡崎城はついに落城し、その後は廃城とな

ったようだ。三浦道寸の築いた岡崎城の本丸と目されている場所には、

現在、帰命山無量寺が建てられている。無量寺は馬渡から移されたといわれ、寺紋には三浦氏の定紋である③が用いられている。その境内には「岡崎城址」の碑が建つが、この場所は相模平野を一望できる台地の先端部分にあたり、城の立地としては申し分ない。

現在でも無量寺の北側には丸山城と同様な堀と土塁が確認できる。岡崎城の南部域にあたる平塚市側では開発が進み、地表で確認できる遺構は数少ないが、発掘調査報告書で知ることができる。また、岡崎城の北側にあたる粕上原でも発掘調査により戦国期の堀が確認されている。

岡崎義実の墓

岡崎城本丸跡に建つ無量寺の西方、野趣にあふれた野道を行くと、ひとむらの雑木林があり、その中に五輪塔や宝篋印塔（ほうきょういんどう）などを組み合わせて三基の墓が作ってある。岡崎義実とその嫡子真田与一の乳母、吾孀（あずま）の墓といわれる墓石である。義実は、我が子与一に仕えた忠実な乳母、吾孀を手厚く葬り、自身もまた同じところに葬られたと言い伝えられている。平成一二年八月には、義実の没後八〇〇年を記念して供養祭が行われた。これら三基は、平塚市域に所在する。

抜粋 伊勢原市教育委員会 発行

「史跡と文化財のまち いせはら」